

メディカルコート八戸西病院広報誌 / ホスピタリティコート

# hospitalityCourt

特集	地域医療 フォーラム	潜在看護師の現場復帰に向けて 青森県看護協会 会長 桀谷 京子さん
	社長の健康 メッセージ	山崎製パン株式会社 十和田工場 工場長 石田 浩治さん
	LIFE WORK HISTORY 人にライフあり、ワークあり、歴史あり / チャレンジ改善委員会 もっと開こう、地域へ OPEN HOSPITAL / One Day 医療人 しあわせ Chisan Sweets / Information / イベントスケジュール	



# 潜在看護師の 現場復帰に向けて

人口減少や少子高齢化、働き方改革などが進む中、看護師を確保するには、看護師免許を持ちながらも現在看護職に就いていない「潜在看護師」の現場復帰が鍵になります。潜在看護師が、再び現場で働き続けられるための支援や教育について、青森県看護協会の柾谷京子会長、八戸西健診プラザ健診科の大浦美奈子看護師長が意見を交わしました。



青森県看護協会  
会長 柾谷 京子さん

1955年岩手県洋野町生まれ。国立病院機構仙台医療センター看護助産学校助産学科卒。三戸中央病院、むつ総合病院、八戸平和病院を経て、2018年6月より現職。



**柾谷** 塗看護協会が運営するナースセンターや、看護師確保のための業務を行う組織です。潜在看護師の復職支援も担っていて、最新の医療技術に関する研修や、求人情報の提供をしています。  
**母良田** 少子高齢化に伴い、現役人口は今後どんどん減っていきます。看護師も例外ではなく、今や9人に一人が60歳以上の「プラチナナース」。短時間勤務や担当業務の特化など、プラチナナースを活用して看護師不足を補っている医療機関はかなり多いです。

看護師の活躍の場は多様です。当グループの中でも、病院だけではなく、健診施設、介護老人保健施設や、教育の場である看護学校などもあります。潜在看護師にさまざま

な種類の施設を見学してもらうことで、「この施設だったら復帰できる」と思ってほしいですね。一人でも多くの潜在看護師が再び活躍できるよう後押しするのが、私たち現役世代の役割だと思っています。

**母良田** 西病院では、潜在看護師就労支援講習会を11月に開催します。  
**大浦** 当グループでは昨秋から今春にかけて「八戸版新型コロナワクチン職域接種」の委託業務を行っています。通常業務をしながら一日当たり600～千人に接種するため、看護職の求人システム「eナースセンター」を通して約20人の潜在看護師を採用し、無事に終えることができました。

結婚をきっかけに退職したばかりの人、家庭で子育てや介護をしている人、管理職として定年まで勤め上げた人など、多様な経験を持つ皆さんとチームを組んで一つの仕事をできたことは、とても貴重な経験です。また、この業務をきっかけに西健診プラザに2名、西病院に1名の採用につながりました。

「一括登録があると、現場復帰に不安を感じる人もいるのではないか」という意見が出ていました。

**柾谷** 電子カルテや注射、AEDなど、進

化した医療技術にハードルを感じている潜在看護師は多いです。そのためナースセンターや、eラーニングで最新技術を学べる、復職支援研修の紹介もしています。無料で受講できるので、ぜひ多くの人に利用してほしいですね。

**母良田** 西病院では、朝または夕方の介助、採血、リハビリなど特定の業務だけを担当する方や、短時間だけの方も歓迎しています。受け入れ側がどれだけ柔軟な対応ができるかが、潜在看護師の現場復帰の鍵になると思います。

**大浦** 健診プラザの看護師のほとんどが、夜勤はできないという背景があり、業務内容や勤務時間に対する線引きははつきりとしています。

また、たとえブランクがあつても、学び直夜勤はできないといふ背景があり、業務内容や勤務時間に対する線引きははつきりとしています。

**大浦** 「私より年上だから、これくらいはできただろう」と思わず、周りが気軽に声を掛けられるような職場風土が大切だと感じています。

**母良田** 西病院では、朝または夕方の介助、採血、リハビリなど特定の業務だけを担当する方や、短時間だけの方も歓迎しています。受け入れ側がどれだけ柔軟な対応ができるかが、潜在看護師の現場復帰の鍵になると思います。

**母良田** 一生生きと働き続けられる環境づくりも大切ですね。

しをしてることで身に付けた感覚は戻るので、勇気を持って現場復帰ができるよう背中を押してあげたいです。

母良田 開局では、朝または夕方の介助、

採血、リハビリなど特定の業務だけを担当する方や、短時間だけの方も歓迎しています。受け入れ側がどれだけ柔軟な対応ができるかが、潜在看護師の現場復帰の鍵になると思います。

**母良田** 一生生きと働き続けられる環境づくりも大切ですね。

しをしてることで身に付けた感覚は戻るので、勇気を持って現場復帰ができるよう背中を押してあげたいです。

母良田 開局では、朝または夕方の介助、

採血、リハビリなど特定の業務だけを担当する方や、短時間だけの方も歓迎しています。受け入れ側がどれだけ柔軟な対応ができるかが、潜在看護師の現場復帰の鍵にな

ると思います。

**母良田** 西病院では、朝または夕方の介助、

採血、リハビリなど特定の業務だけを担当する方や、短時間だけの方も歓迎しています。受け入れ側がどれだけ柔軟な対応ができるかが、潜在看護師の現場復帰の鍵にな

ると思います。

「潜在看護師の復職に向けて、どのようなアプローチをしていますか。」

**柾谷** 塗看護協会が運営するナースセンターや、看護師確保のための業務を行う組織です。潜在看護師の復職支援も担っていて、最新の医療技術に関する研修や、求人情報の提供をしています。

少子高齢化に伴い、現役人口は今後どんどん減っていきます。看護師も例外ではなく、今や9人に一人が60歳以上の「プラチナナース」。短時間勤務や担当業務の特化などを補っている医療機関はかなり多いです。

看護師の活躍の場は多様です。当グループの中でも、病院だけではなく、健診施設、介護老人保健施設や、教育の場である看護学校などもあります。潜在看護師にさまざまな種類の施設を見学してもらうことで、「この施設だったら復帰できる」と思ってほしいですね。一人でも多くの潜在看護師が再び活躍できるよう後押しするのが、私たち現役世代の役割だと思っています。

**母良田** 塗看護協会が運営するナースセンターや、看護師確保のための業務を行う組織です。潜在看護師の復職支援も担っていて、最新の医療技術に関する研修や、求人情報の提供をしています。

少子高齢化に伴い、現役人口は今後どんどん減っていきます。看護師も例外ではなく、今や9人に一人が60歳以上の「プラチナナース」。短時間勤務や担当業務の特化などを補っている医療機関はかなり多いです。

看護師の活躍の場は多様です。当グループの中でも、病院だけではなく、健診施設、介護老人保健施設や、教育の場である看護学校などもあります。潜在看護師にさまざまな種類の施設を見学してもらうことで、「この施設だったら復帰できる」と思ってほしいですね。一人でも多くの潜在看護師が再び活躍できるよう後押しのが私たち現役世代の役割だと思っています。

**母良田** 塗看護協会が運営するナースセンターや、看護師確保のための業務を行う組織です。潜在看護師の復職支援も担っていて、最新の医療技術に関する研修や、求人情報の提供をしています。

少子高齢化に伴い、現役人口は今後どんどん減っていきます。看護師も例外ではなく、今や9人に一人が60歳以上の「プラチナナース」。短時間勤務や担当業務の特化などを補っている医療機関はかなり多いです。

看護師の活躍の場は多様です。当グループの中でも、病院だけではなく、健診施設、介護老人保健施設や、教育の場である看護学校などもあります。潜在看護師にさまざまな種類の施設を見学してもらうことで、「この施設だったら復帰できる」と思ってほしいですね。一人でも多くの潜在看護師が再び活躍できるよう後押しのが私たち現役世代の役割だと思っています。

**母良田** 塗看護協会が運営するナースセンターや、看護師確保のための業務を行う組織です。潜在看護師の復職支援も担っていて、最新の医療技術に関する研修や、求人情報の提供をしています。

少子高齢化に伴い、現役人口は今後どんどん減っていきます。看護師も例外ではなく、今や9人に一人が60歳以上の「プラチナナース」。短時間勤務や担当業務の特化などを補っている医療機関はかなり多いです。

看護師の活躍の場は多様です。当グループの中でも、病院だけではなく、健診施設、介護老人保健施設や、教育の場である看護学校などもあります。潜在看護師にさまざまな種類の施設を見学してもらうことで、「この施設だったら復帰できる」と思ってほしいですね。一人でも多くの潜在看護師が再び活躍できるよう後押しのが私たち現役世代の役割だと思っています。

**母良田**



H	W	L
I	O	I
S	R	F
T	K	E
O		
Y		

当院には、さまざまな経歴や資格をもつ職員が在籍しています。その個性を生かした活躍ぶりやリアルエピソードをご紹介します。

人にライフあり、ワークあり、歴史あり。

## 失語症者の社会参加を支援する言語聴覚士に

言語聴覚士として失語症者の生活を少しでも豊かにするため、訪問リハビリ従事を希望して入職しました。訪問先でさまざまな対象者と接する中、失語症者の就労や社会参加が大変困難なことを実感しました。外見からは障害がわかりにくく、失語症とは気づいてもらえない。電話やメールがうまくできない。また、自分で自分の障害を説明できることでご家族からも理解されにくく、家庭内でも疎外感を感じている方が多いことが現状です。

昨年度から青森県の意思疎通支援事業の一貫として「青森県失語症者向け意思疎通支援者養成研修事業」が開始されました。話せないことで外出の機会を逃している方も多いですが、少しのサポートで会合や

買い物ができる方が増えています。これは、私が訪問リハビリに従事した理由と重なります。私一人の活動では全ての失語症者の役には立てなくとも、講師として支援者を一人でも多く輩出することで失語症者の社会参加を促すことに繋がると考えています。今後も、地域で暮らす方々の支援に尽力していきたいです。

### 略歴

2007年 弘前ホスピタリティーアカデミー 言語聴覚学科卒  
2008年 帯広西病院入職  
2012年 こども発達支援センター虹 入職  
2016年 当院入職



※上記取材内容は2022年9月時点のものです。

もっと向上できる、ホスピタリティ。

## チャレンジ改善委員会

サービス、医療安全、感染対策などをホスピタリティ目線で改善するプロジェクト展開中です。



### 光触媒コーティングを施しました



光触媒は、光が当たると活性酸素を発生させ、汚れや細菌、ウイルスなどを無害な水と二酸化炭素に分解、抑制する物質の総称です。

さらに、番号札は、同じ日に同じ札を2人以上触れることがないよう枚数を増やし、通し番号としました。これからも感染症拡大防止策は続いているますが、健診を受ける方々が安心してご利用いただける環境を整えてます。

八戸西健診プラザでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、光が当たることで抗菌・除菌効果を発揮する「光触媒コーティング」を番号札やエレベーターの操作ボタンなどに施しました。これまでアルコールで清拭がメインでしたが、対象物の劣化や持続的な効果も保たれていないためです。



### 面会受付へ老眼鏡を設置しました



老眼鏡、手指消毒液、消毒済みベン、個別クリップボードの記入用紙、時計などをナースステーション前に設置しています。

また、個人情報の観点から、受付簿を一覧表から個別用紙に変更したり、感染対策として記入用のペンや老眼鏡も隨時アルコール消毒するなど、あらゆる人が安心してご利用しやすい環境への改善に努めています。ほかにもお気づきの点やご要望がありましたらご遠慮なくお聞かせください。

面会のご家族が病棟にお越しの際、ナースステーション受付前にて、面会用紙にお名前、続柄、体温などの記入をお願いしています。今回、記入用のテーブルに、弱・中・強度の老眼鏡を設置しました。

# One Day 医療人

チーム医療を支える当院のスペシャリストたち。  
その専門職種ごとの一日の活躍ぶりをレポートします。



#07

## 臨床工学技士

Clinical engineer

医療機器の専門医療職です。医師、看護師などとチームを組んで各種医療機器の操作をしたり、機器が何時でも安心して使用できるように、日々注意深く保守・点検業務を担当します。透析室業務も担当しており、患者さんとのかかわりの中で、元気な様子や笑顔で挨拶してくれることがうれしいです。

メディカルコート八戸西病院  
臨床工学技士：門間 敦子  
東北文化学園専門学校卒



リハビリテーション病院として  
地域社会に貢献します



充実した地域医療提供のため働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

07:50 出勤・準備

08:00 午前業務スタート

プライミング・透析液チェックなど患者さん入室までの準備をします。患者さんとの会話から情報収集し、透析中に機器や体調に変化がないか観察していきます。



11:00 昼食休憩

休憩時間は交替でります。一息つける休み時間です。黙食ですが雰囲気はわきあいあいと楽しい時間です。



12:00 午後業務スタート

医療機器の管理も臨床工学技士の仕事の一つ。人工透析装置が安全に使用できるように、メンテナンスに関わっています。病棟で使用する人工呼吸器や輸液ポンプの点検も行っています。これからは手術で使う麻酔装置の管理もていきたいです。



17:00 業務終了

**Note** 医療機器に関するスキルアップや患者さんの情報共有を全員で。

すべての患者さんに統一した医療を提供できるよう、情報共有のミーティングを行っています。医療機器の管理に関するスタッフカンファレンスでは、全員のスキルアップをお手伝いしています。



もっと開こう、地域へ。



OPEN  
HOSPITAL  
オープンホスピタル

地域の医療実習生や職場体験の受入れに  
私たちは積極的に取り組んでいます。

## 社会福祉実習Ⅰ

弘前学院大学 社会福祉士学部

## 新カリキュラム導入後初の 社会福祉実習Ⅰを実施

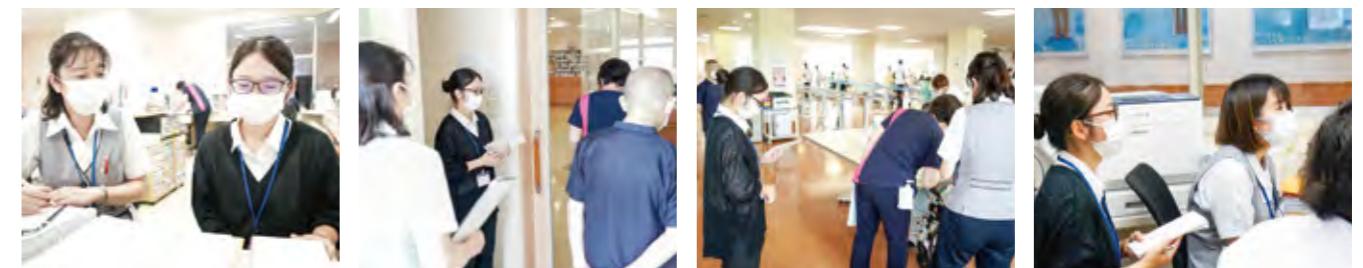
8月22日から8月31日までの8日間

間、弘前学院大学 社会福祉士学部2年生による、社会福祉実習が当院で行われました。社会福祉士の受験資格を得るための社会福祉実習Ⅰは、新カリキュラムになつてから当院での受け入れば初めてとなります。

実習では、社会福祉士と家族や患者さまとの面談を見学、また多職種でのカンファレンスや回診等の見学を行いました。社会福祉士として、基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成、患者家族等との援助関係の形成を学びます。また、他職種連携やチームアプローチの実践的理 解を学びます。

実習生からは、授業で学んできたことを、実際の現場で肌で感じることで、社会福祉士の業務を見学することができ、社会福祉士の業務を理解できたと感想をいただきました。

私たちもこれからも、未来の社会福祉士の育成に貢献できるよう、スタッフ全員で取り組んでいきたいと思います。



多職種でのカンファレンス後、振り返りをし、情報共有をします。患者さまにとってより良い介入方法を考えいく時間です。

病棟内回診では、医師、看護師、リハビリスタッフとともに、一人ひとりの患者さまの状態を詳細に把握します。

リハビリを行なっている場面でも多職種で患者さまを観察し、現状と方向性を見据えてアプローチする方法を学んでいきます。

病棟で行われる多職種カンファレンスにも参加します。それぞれの役割に応じ、多角的に情報交換する現場を体験します。

# i Information

## 「糖尿病講演会」を開催します

11月13日(日)9:00~13:00、当院1階交流ホールで、世界糖尿病週間にちなんだ「糖尿病講演会」を開催します。講師は日本糖尿病学会専門医の石龜昌幸医師、看護師、管理栄養士、理学療法士で、体験型イベントも予定。参加費無料、先着40名の予約制です。お問い合わせお申し込みは当院☎0178-28-4000まで。



※写真は2021年11月13日撮影

## 「高次脳機能障害に関する講演会」をオンライン開催します

令和5年1月21日(土)13:30~15:00、八戸プラザホテルで「高次脳機能障害に関する講演会」を開催します。テーマは「高次脳機能障害の症状とその対応について」。東北大学大学院医学系研究科 教授 鈴木匡子先生を講師としてオンラインで開催します(参加費無料)。講演会詳細、お申込み方法等は病院WEBサイトへ近日掲載予定です。



※写真は2021年11月6日撮影

## 第20回SG研究発表大会をネット限定公開します

11月19日(土)~11月30日(水)の期間、「第20回SGグループ研究発表大会」の様子をインターネット配信により限定公開します。今年度のテーマは「Smile&Good ~医療と介護の明るい未来への挑戦~」です。視聴ご希望の方は大会事務局☎0178-51-2000、またはEメールinfo@silverrehab.jpまでお問い合わせください。



※写真は2019年11月撮影

## 認知症サポート体制支援について

当院の脳神経外科部長、切替典宏医師が、青森県認知症サポート医養成研修を修了しました。認知症の方の診療に精通し、かかりつけ医等への認知症診断に関する助言や支援、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携づくりへの協力をしています。今後も地域における認知症の人を支える体制づくりの支援を行ってまいります。



※写真は切替典宏医師



さつまいもにはヤラピンという栄養成分が含まれています。切った際に出てくる白い液の成分で、ビフィズス菌の働きを活性化する効果があるとされています。そのほかにも、ビタミンC、ビタミンE、カリウムが含まれており、美肌効果、酸化防止(動脈硬化予防)、高血圧予防などの効果が期待できます。

### 【作り方】

- ①さつまいもを縦半分に切り、水で濡らしたキッチンペーパーで包んでラップをして500Wのレンジで6分加熱。
- ②さつまいもの中のスプーンでくり抜く。
- ③くり抜いたさつまいもと、砂糖、生クリーム、サラダ油をなめらかになるまで混ぜ合わせ、裏ごしする。
- ④さつまいもの器に③をつめて形を整える。
- ⑤つや出し用の卵黄をはけでぬる。
- ⑥200°Cのオーブンで15分、焼き色がつくまで焼く。
- ⑦黒ゴマをふって完成。

### 【材料】1人分

さつまいも(器用)	1/2本
さつまいも	150g
砂糖	10g
生クリーム	30g
サラダ油	3g
卵(つや出し用)	適量
黒ごま	適量



管理栄養士  
内澤 理沙

介護老人保健施設 はくじゅ



公式Instagramで  
ご覧いただけます

# 丸ごとスイートポテト

Baked Sweet potato Cake

今回のつくったひと



## Event イベントスケジュール

□2022年

11月13日(日)	9:00~14:00	糖尿病講演会	交流ホール	予約制(定員40名)
11月22日(火)~25日(日)	終日	クリスマスイルミネーション点灯	交流ホール	自由観覧
12月1日(木)~10日(土)	終日	絵画・書道展 MOA美術館	1Fアートストリート	自由観覧
12月1日(木)~24日(土)	終日	館内クリスマスマジック放送	館内	自由観覧
□2023年				
1月14日(土)~2月9日(木)	終日	八戸西病院 書き初め書道展	1Fアートストリート	自由観覧

## ・介護予防教室・健康相談のお知らせ

当院専門スタッフ派遣による「介護予防教室・健康相談」を八戸市内の各公民館などで開催しています。日時、場所、内容など詳しくは、当院外来の掲示板をご確認ください。

### 医療のいろいろなことを相談できる 当院公式WEBサイト「診療科トピックス」 をご利用ください。

当院では、患者さまの疾病や障害、健康などに関するお悩みについて、さまざまな専門外来の診療科と専門スタッフに、もっと気軽にご相談いただけるきっかけづくりとして、公式WEBサイトに「診療トピックス」を設置しています。スマホやPCでのアクセス、またはお電話でご相談ください。

## 〈最新トピック〉

- ・健康診断での尿検査再検について
- ・脳神経外科  
認知症サポート体制について



## ●スマホ、PCでご覧の場合

公式WEBサイト  
「診療科トピックス」ページ



## ●お電話の場合(外来のご相談・ご予約)

0120-824-489

受付時間 平日 9:00~12:00/13:30~16:30 土曜 9:00~12:00

## Note 編集ノート

### メディカルコート八戸西病院 第8回こども探検隊を開催しました。

「こども探検隊」は、夏休みの1日を利用して当院の医局、看護部、リハビリテーション部、診療部等をめぐり、実際の医療機器などを使用したリアルな医療体験をしながら、スタンプラリーを楽しめるイベントです。小学4~6年生を対象に10組のご家族に参加いただき、地域の子どもたちに医療を身边に感じていただけたと思います。来年度もさらに楽しく学びながら地域の方々との交流を深められる企画にしてまいります。



白衣を着て、実際の診察室での診察や胃カメラ体験、CTを使った箱の中身当てクイズなど、普段立ち入ることのできない医療の現場を楽しく体験していただきました。